

## 「チャレンジプラン 2017」の取組状況

### 平成 30 年度

#### (1) 社会実験運行

利用者ニーズに沿ったサービスの提供を進めるため、新興住宅地へ新たにバス路線を乗り入れし、バス停を設置したほか、買い物などでの利用が多い浜田地区を経由する路線を開設するなど、平成 30 年 10 月 29 日から、5 路線での実験運行を実施しました。



#### (2) バスマチ空間向上事業（平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で実施）

バス利用者を雨風や雪から守るための待合所の整備・改修や外国人観光客受入強化のための多言語バス停標識の整備を行いました。また、整備と併せて広告スペースを確保することにより、収入確保に努めました。



待合所の整備



多言語バス停標識

#### (3) 「グーグルマップ」経路検索サービスに対応

運行時間、ルート及び運賃などの情報を無料で提供できるよう、「グーグルマップ」の経路検索サービスに対応しました。

#### (4) 効果的・効率的な発売所運営

効果的・効率的な発売所運営を図るため、市役所前発売所と堤橋発売所を統合し、N T T 青森支店前発売所として開設しました。

#### (5) ノンステップバス購入

障がい者や高齢者など、バスの乗降に不安を抱える方々が安全・快適にバスを利用できるよう、車両の更新に合わせ、大型ノンステップバス 8 両を導入しました。

## 令和元年度 (※実施予定含む)

### (1)冬ダイヤの導入

降雪による交通環境の変化やシーズンごとの利用状況など、雪国としての地域特性を踏まえ、夏ダイヤ・冬ダイヤの2シーズン制ダイヤを導入し、利用客の少ない夏期の運行と冬期との調整により、利用客が増加する冬期の増便と、運行実態に即した所要時間の調整を図ります。

### (2)路線名・系統名の見直し、記号化（ナンバリング）

令和2年3月のダイヤ改正にあわせて、運行ルートが分かりやすいように路線名を変更し簡素化するとともに、路線名の記号等による表記（ナンバリング）の導入などにより、バス利用者の利便性の向上を図ります。



### (3)委託運行の推進

効率的で持続性のある経営基盤の構築のために、冬ダイヤにあわせて委託運行を拡大します。

### (4)社会実験運行

平成30年度に実施した実験運行のうち、明の星通り線（乗継便）については、利用客が少ないことや乗継での利用がほとんどないことから継続しないこととし、残りの4路線については、夏期の利用動向を把握するため、本年12月上旬までその運行を継続します。

### (5)バスまち空間向上事業

待合所の整備・改修、多言語バス停標識の整備等を実施します。

### (6)ノンステップバスの購入

大型ノンステップバス7両を導入します。